

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和元年度事業点検・評価調書

4-V-5

4-V-5

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	エコツーリズムの啓発
節	V. 来訪者マナーの醸成		
事業(施策)名	5 エコツーリズム普及啓発	事業主体	佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28~R4	関連団体	県観光企画課、新潟市広域観光課、長岡市観光企画課、上越市観光交流推進課、県観光協会、佐渡観光交流機構、佐渡トレッキング協議会
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○自然環境や歴史文化など地域固有の魅力を来訪者に伝え、その価値や保全の大切さについて理解促進を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○ホームページや各種リーフレットのほか、旅行代理店等への働きかけによってエコツーリズムの普及を図る。</p>		
R元事業計画と実績	<p>【元年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●現地発着の「佐渡エンジョイプラン」パンフレットを年2回作成し、自然や歴史文化が体験できるプログラムを紹介する。</li> <li>●トレッキングマップや各種リーフレットでマナー向上を呼びかけ、佐渡奉行所やゴールデン佐渡を含む自然や歴史が体験できるトレッキングを推進する。</li> </ul> <p>【元年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●佐渡エンジョイプランは交流機構の自主事業としてパンフレットを春夏、秋冬それぞれ作成した。</li> <li>●トレッキングマップの作成のほか、山岳雑誌への掲載に協力し、トレッキング客が佐渡観光に流れやすいPRをした。(2万2千人)</li> </ul>		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■自然体験コンテンツのバリエーション化は果たせたところだと思うので、今後はより購買につながるプロモーションを図る必要がある。</li> </ul> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■企画乗船券等、交通と体験をパックにしたプランで販売促進を図る。</li> </ul>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 [ a <b>b</b> c ]</p> <p>◇当初計画どおり事業実施できているためBとした。</p> <p>【事業実施の効果】 [ a <b>b</b> c ]</p> <p>【総合評価】 [ A <b>B</b> C ]</p>		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。